

事例

07

無線LANアクセスポイントの活用

1. 課題

利用者の目線:

「利用中もストレスなく、自分らしい生活を送りたい。」

職員の目線 :

「見守り支援ロボットなどからの通知をできるだけ早く知りたい。」



2. 機器の特徴

無線LANアクセスポイント **ACERA1110**

見守り支援
ロボット



リアルタイムで通知される
から、適切なタイミングで
対応が可能に！



介護ロボットやICT機器を活用したシステムが安定的に稼働することで、
・スタッフの介入頻度が抑えられ、必要なときだけ利用者の様子を見にいくことが可能に。
・ご利用者の方々の生活の質(QOL)が向上

→デジタルネットワーク環境を活用することで、ご利用者、職員ともにストレスが軽減！



ACERA



ACERAインタビュー
(当事業所事例)

当ホーム・事業所では、構築したネットワーク環境を活用して、スタッフが所持している介護記録ソフトがインストールされている端末に入力した各種情報はクラウドサーバに一元化できます。デジタル体温計や血圧計で測定した数値も介護記録ソフトに自動的に記録されるため、記録や入力業務の負担軽減に役立っています。生産性向上や働き方改革といった点でも、無線LANは大きな役割を担っています。



社会福祉法人 鈴鹿福祉会

鈴鹿グリーンホーム



鈴鹿グリーンホームHP